

# ばんしん景況レポート

〒670-0962  
姫路市南駅前町110番地  
播州信用金庫

中小企業景気動向調査 2023年1月～3月期 No. 70

照会先 経営企画部  
TEL 079-280-3398(直通)  
FAX 079-281-4667

**【概況】** 2023年1月～3月期の業況は1.3、前期比 0.9ポイントマイナスと前期を下回りました。来期は姫路地域では前期を下回り、神戸地域では改善する見通しです。

## 景気動向調査主要指数D.I（総合）

項目	全地域			姫路地域			神戸地域		
	2022年10月～12月期	2023年1月～3月期	2023年4月～6月期予想	2022年10月～12月期	2023年1月～3月期	2023年4月～6月期予想	2022年10月～12月期	2023年1月～3月期	2023年4月～6月期予想
業況	2.2	1.3	2.0	1.8	3.3	2.2	0.7	▲ 1.5	1.1
売上額	12.9	9.5	11.5	12.9	10.3	11.7	13.8	8.7	11.2
収益	5.0	▲ 1.8	1.2	4.0	▲ 5.9	▲ 0.4	6.9	0.0	0.7
販売価格	21.9	22.5	18.5	23.5	21.6	19.8	19.9	22.5	15.6
仕入価格	47.0	47.7	38.0	50.7	49.5	41.0	41.5	43.8	34.4
在庫	▲ 1.8	▲ 3.1	▲ 2.9	▲ 3.4	▲ 2.9	▲ 2.4	▲ 2.5	▲ 4.1	▲ 5.1
資金繰り	▲ 1.3	▲ 4.3	16.0	▲ 1.5	▲ 1.8	15.4	0.0	▲ 4.3	16.3
人手	▲ 16.9	▲ 17.2	▲ 18.0	▲ 25.4	▲ 21.6	▲ 22.3	▲ 9.9	▲ 13.1	▲ 14.5
設備状況	▲ 7.9	▲ 8.4	▲ 9.4	▲ 7.8	▲ 7.4	▲ 8.2	▲ 6.8	▲ 7.9	▲ 9.5

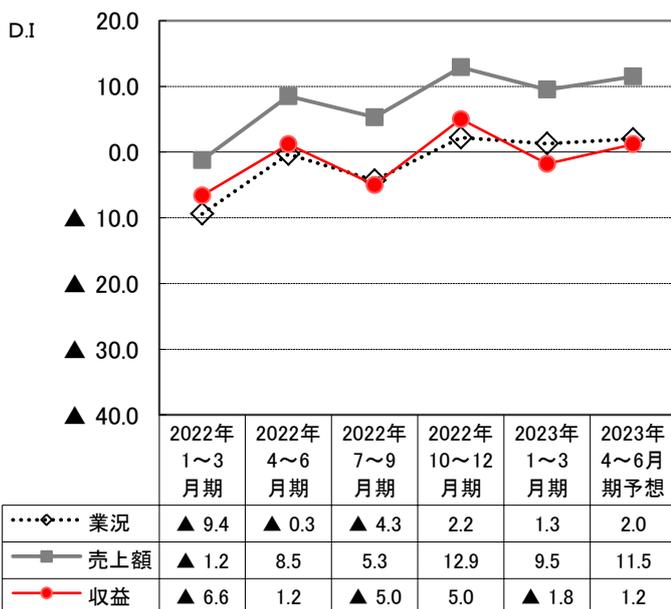
## 2023年1月～3月期実績

《 卸売業、小売業、不動産業で上向き 》  
当期の全地域の全業況D.Iは1.3、前期比0.9ポイントマイナスと前期を下回りました。全地域の業種別では、卸売業、小売業、不動産業において上向きました。

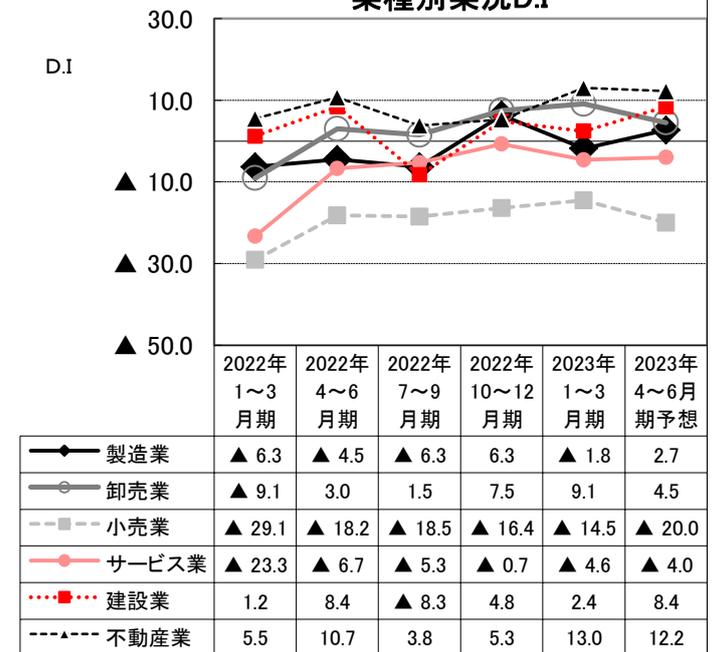
## 2023年4月～6月期見通し

《 姫路地域では前期を下回り、神戸地域では改善する見通し 》  
来期の全地域の全業種予想業況D.Iは2.0、当期比0.7ポイントプラスと回復に向かう見通しです。全地域の業種別では、製造業、サービス業、建設業において上向き見通しです。地域別では、姫路地域では前期を下回り、神戸地域では改善する見通しです。

### 全地域D.I(総合)



### 業種別業況D.I



## 調査要領

### 1. 調査目的

当金庫営業地域内の景気動向を把握し、お取引先の経営者の皆様に景気に関する情報提供をおこない、経営にお役立ていただくことを目的としています。

### 2. 調査時期

2023年3月上旬

### 3. 調査対象期間

2023年1月～3月期実績（2022年10月～12月期との比較）

2023年4月～6月期予想（2023年1月～3月期実績との比較）

### 4. 調査方法

調査員による「面接聞き取り調査」

### 5. 分析方法

本調査はD.I（ディフュージョン・インデックス）による分析

D.Iとは、景気が「良い」、「増加」、「上昇」、「過剰」、「楽」と回答した企業の割合から「悪い」、「減少」、「下降」、「不足」、「苦しい」と回答した企業の割合を差し引いた構成比差から景気の方角を判断する指数です。

### 6. 調査地域

姫路地域・・・姫路地区（姫路市）

東播地区（加古川市・高砂市・三木市・稲美町）

西播地区（赤穂市・相生市・たつの市・太子町）

北播地区（加西市・福崎町）

神戸地域・・・神戸地区（神戸市・西宮市・尼崎市・宝塚市・伊丹市）

明石地区（明石市・神戸市西区）

※調査地域については、上記地区に所在する当金庫支店を基準とした地域設定であります。

調査先および回答状況

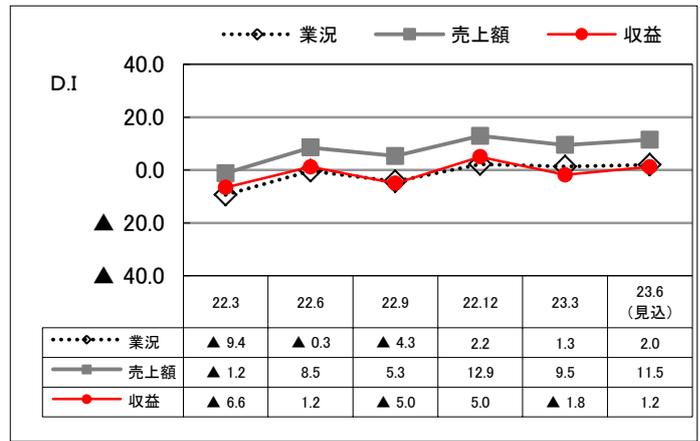
	依頼数	回答数	回答率
製 造 業	112	112	100.0%
卸 売 業	67	67	100.0%
小 売 業	55	55	100.0%
サ ー ビ ス 業	151	151	100.0%
建 設 業	84	84	100.0%
不 動 産 業	131	131	100.0%
合 計	600	600	100.0%

本レポートは、標記時点における情報提供のみを目的としたものであります。したがって投資等や施策実施に関する最終決定はご自身の判断でなされるようにお願いします。また、本レポート掲載資料については、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、その情報の正確性および完全性について当金庫が保証するものではありません。

### 1. 業況

全業種における業況D.Iは1.3、前期比0.9ポイントマイナス（前年同期比+10.7）と前期を下回りました。業種別では、卸売業、小売業、不動産業において上向きました。

来期予想D.Iは2.0、当期比0.7ポイントプラスと回復に向かう見通しです。業種別では、製造業、サービス業、建設業において上向く見通しです。



### 2. 売上額

全業種における売上額D.Iは9.5、前期比3.4ポイントマイナス（前年同期比+10.7）と増加幅が縮小しました。業種別では、小売業、不動産業において上向きました。

来期予想D.Iは11.5、当期比2.0ポイントプラスと堅調に推移する見通しです。業種別では、サービス業、建設業において上向く見通しです。

### 3. 収益

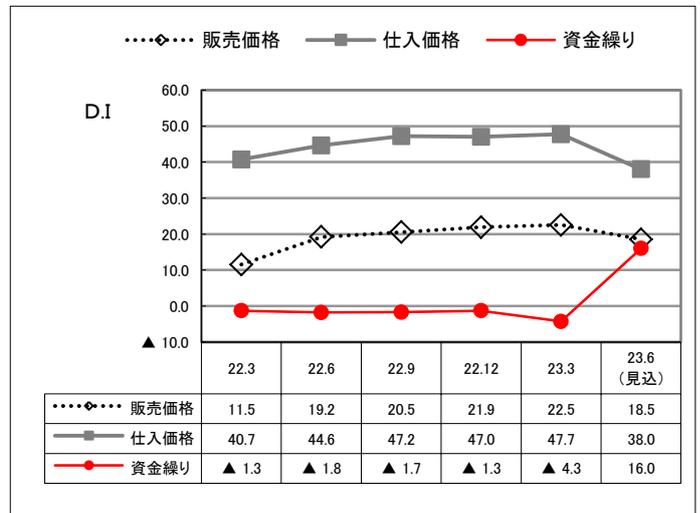
全業種における収益D.Iは▲1.8、前期比6.8ポイントマイナス（前年同期比+4.8）と水面下に落ち込みました。業種別では、不動産業において改善しました。

来期予想D.Iは1.2、当期比3.0ポイントプラスと好転する見通しです。業種別では、不動産業において低迷する見通しです。

### 4. 資金繰り

全業種における資金繰りD.Iは▲4.3、前期比3.0ポイントマイナス（前年同期比 ▲3.0）と厳しさが増しました。業種別では、小売業において和らぎました。

来期予想D.Iは16.0、当期比20.3ポイントプラスと窮屈感を脱する見通しです。業種別では、全業種において和らぐ見通しです。



### 5. 販売価格

全業種における販売価格D.Iは22.5、前期比0.6ポイントプラス（前年同期比+11.0）と上昇幅が拡大しました。業種別では、卸売業、不動産業において上昇しました。

来期予想D.Iは18.5、当期比4.0ポイントマイナスと上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、不動産業以外の業種において低下する見通しです。

### 6. 仕入価格

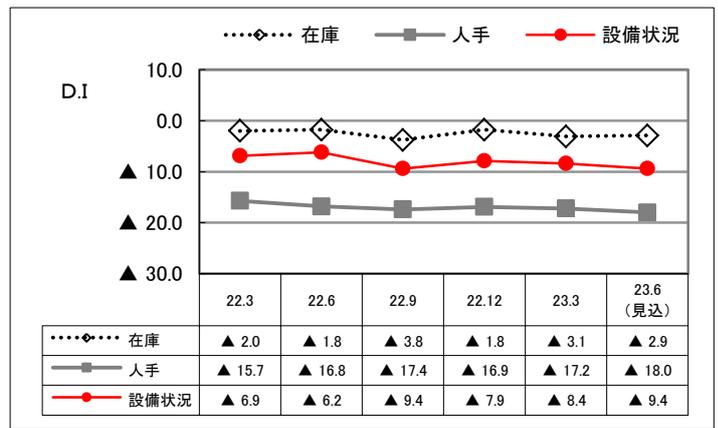
全業種における仕入価格D.Iは47.7、前期比0.7ポイントプラス（前年同期比+7.0）と上昇幅が拡大しました。業種別では、小売業、建設業において低下しました。

来期予想D.Iは38.0、当期比9.7ポイントマイナスと上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、全業種において低下する見通しです。

## 7. 在庫

全業種における在庫D.Iは▲3.1、前期比1.3ポイントマイナス（前年同期比 ▲1.1）と不足感が強まりました。業種別では、製造業、卸売業で不足感が強まりました。

来期予想D.Iは▲2.9、当期比0.2ポイントプラスと不足感が改善する見通しです。業種別では、建設業、不動産業で不足感が改善する見通しです。



## 8. 人手

全業種における人手D.Iは▲17.2、前期比0.3ポイントマイナス（前年同期比 ▲1.5）と不足感が強まりました。業種別では、小売業、建設業で不足感が強まりました。

来期予想D.Iは▲18.0、当期比0.8ポイントマイナスとさらに不足感が強まる見通しです。業種別では、製造業、サービス業、不動産業でさらに不足感が強まる見通しです。

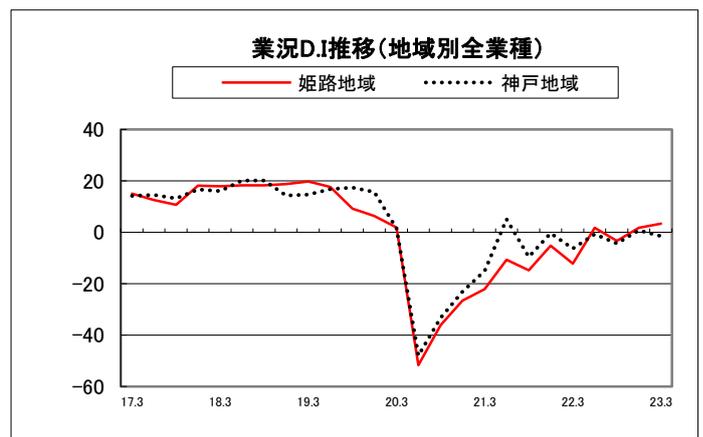
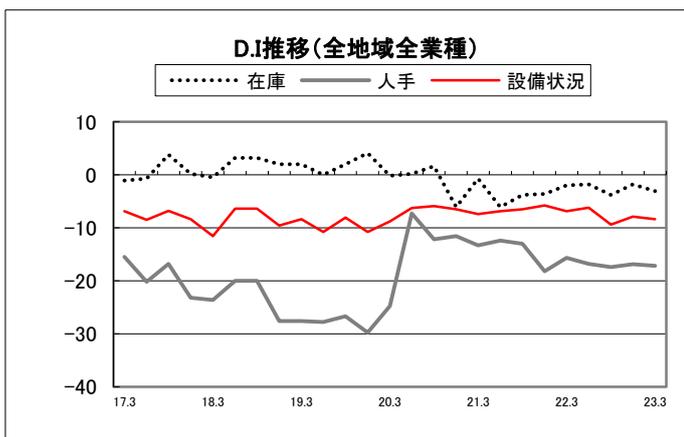
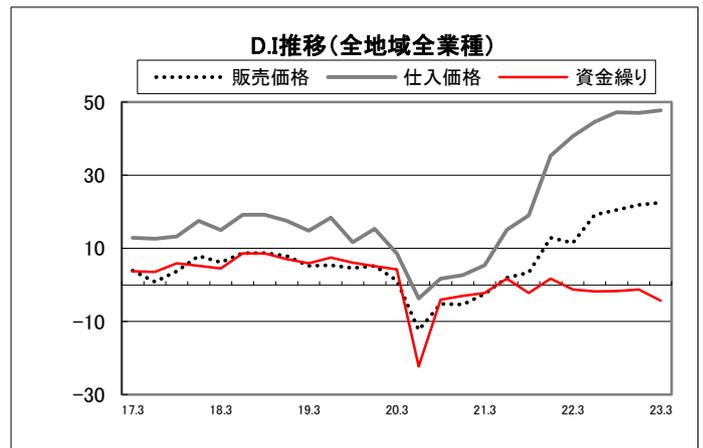
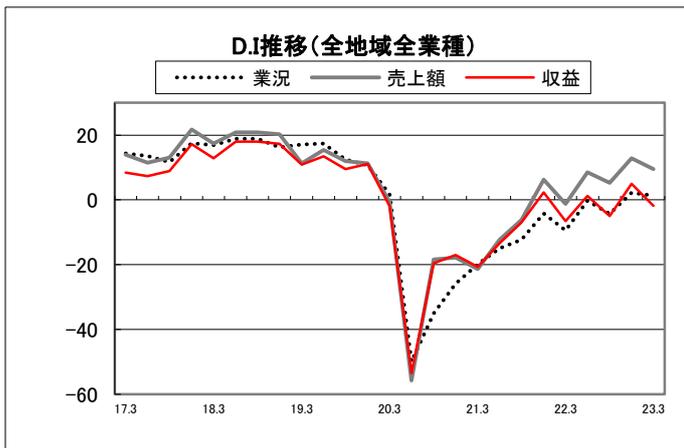
## 9. 設備状況

全業種における設備状況D.Iは▲8.4、前期比0.5ポイントマイナス（前年同期比 ▲1.5）と低迷しました。

また、設備投資を行ったと回答した企業の割合は30.9%、前期比▲0.8ポイントマイナス（前年同期比 ▲1.1）と減少しました。また業種別では、小売業、サービス業において設備投資を行った企業の割合が減少しました。

来期に設備投資を行うと回答した企業の割合は36.1%、当期比増加5.2ポイントプラスと増加する見通しです。

## 過去D.I推移



### 1. 業況

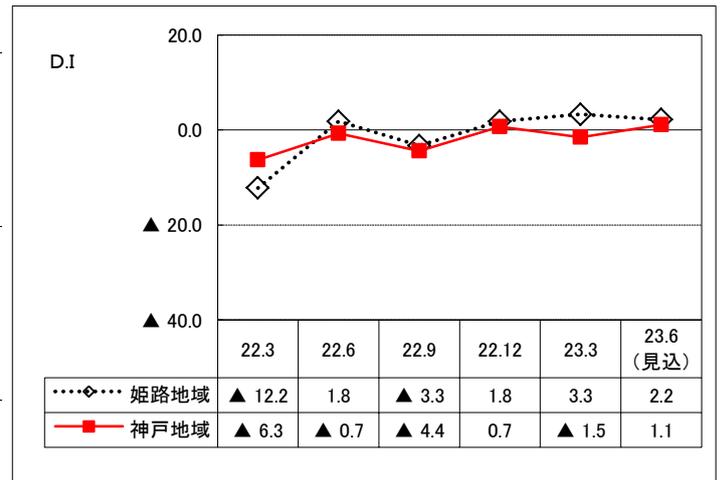
姫路地域の業況D. Iは3.3、前期比1.5ポイントプラス（前年同期比+15.5）と前期を上回りました。

来期予想D. Iは2.2、当期比1.1ポイントマイナスと好調感が後退する見通しです。

神戸地域の業況D. Iは▲1.5、前期比2.2ポイントマイナス（前年同期比+4.8）と厳しさを強めました。

来期予想D. Iは1.1、当期比2.6ポイントプラスと好転する見通しです。

当期の地域別業況は、姫路地域で前期を上回り、神戸地域で厳しさを強めました。



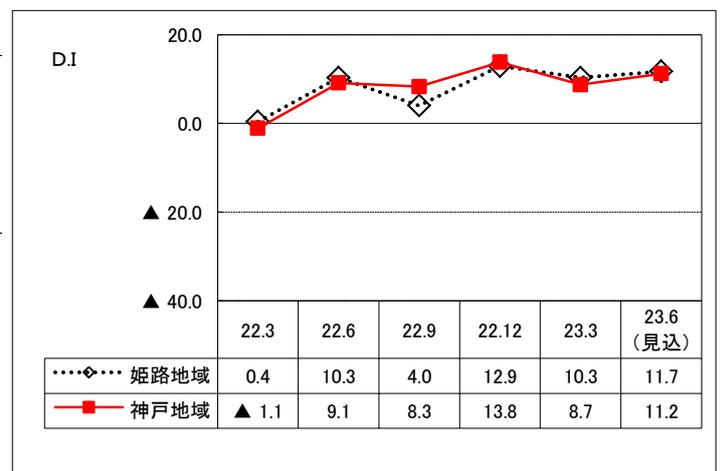
### 2. 売上額

姫路地域の売上額D. Iは10.3、前期比2.6ポイントマイナス（前年同期比+9.9）と増加幅が縮小しました。

来期予想D. Iは11.7、当期比1.4ポイントプラスと堅調に推移する見通しです。

神戸地域の売上額D. Iは8.7、前期比5.1ポイントマイナス（前年同期比+9.8）と増加幅が縮小しました。

来期予想D. Iは11.2、当期比2.5ポイントプラスと堅調に推移する見通しです。



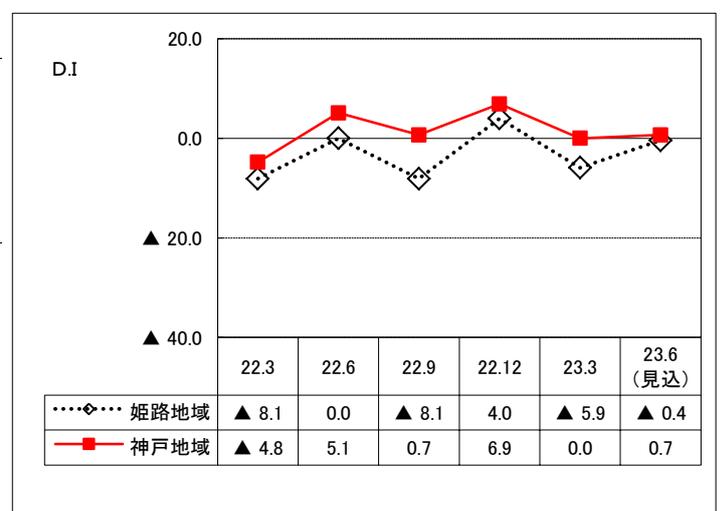
### 3. 収益

姫路地域の収益D. Iは▲5.9、前期比9.9ポイントマイナス（前年同期比+2.2）と水面下に落ち込みました。

来期予想D. Iは▲0.4、当期比5.5ポイントプラスと減少幅が縮小する見通しです。

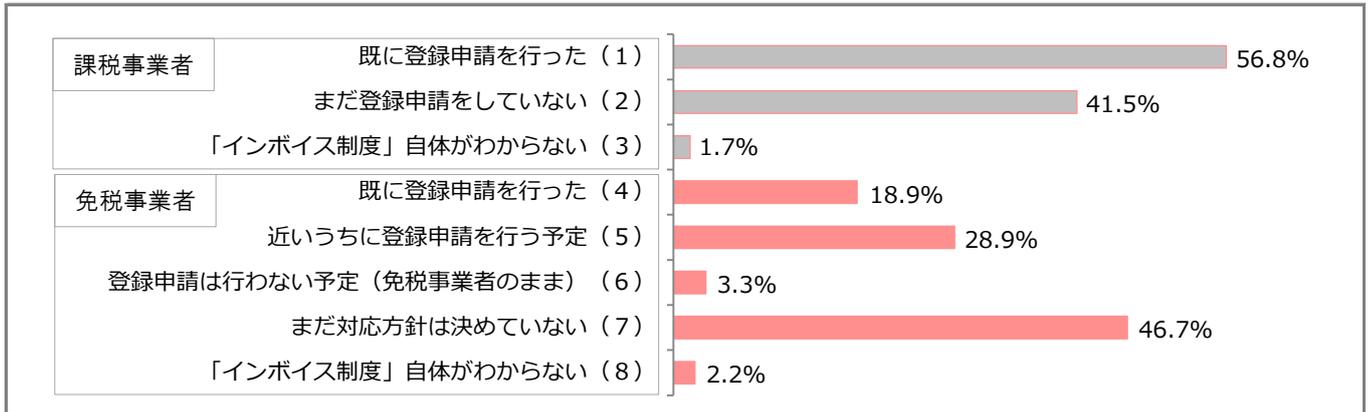
神戸地域の収益D. Iは0.0、前期比6.9ポイントマイナス（前年同期比+4.8）と増加幅が縮小しました。

来期予想D. Iは0.7、当期比0.7ポイントプラスと堅調に推移する見通しです。



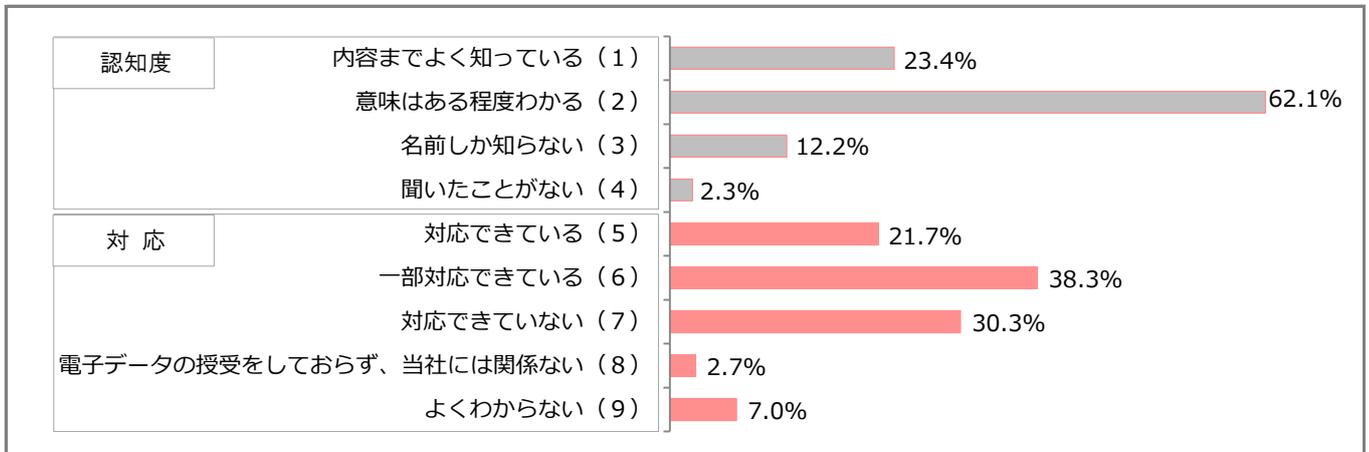
## 「中小企業におけるデジタル化への対応について」

問1 2023年10月に開始予定の「インボイス制度（適格請求書等保存方式）」へ向けて、インボイス（適格請求書）発行事業者への登録申請を求める動きがありますが、貴社ではどのように対応していますか。現在、消費税を納付している「課税事業者」の方は1～3から、消費税の納税免除を受けている「免税事業者」の方は4～8から、それぞれ最もあてはまるものを1つ、選んでお答えください。



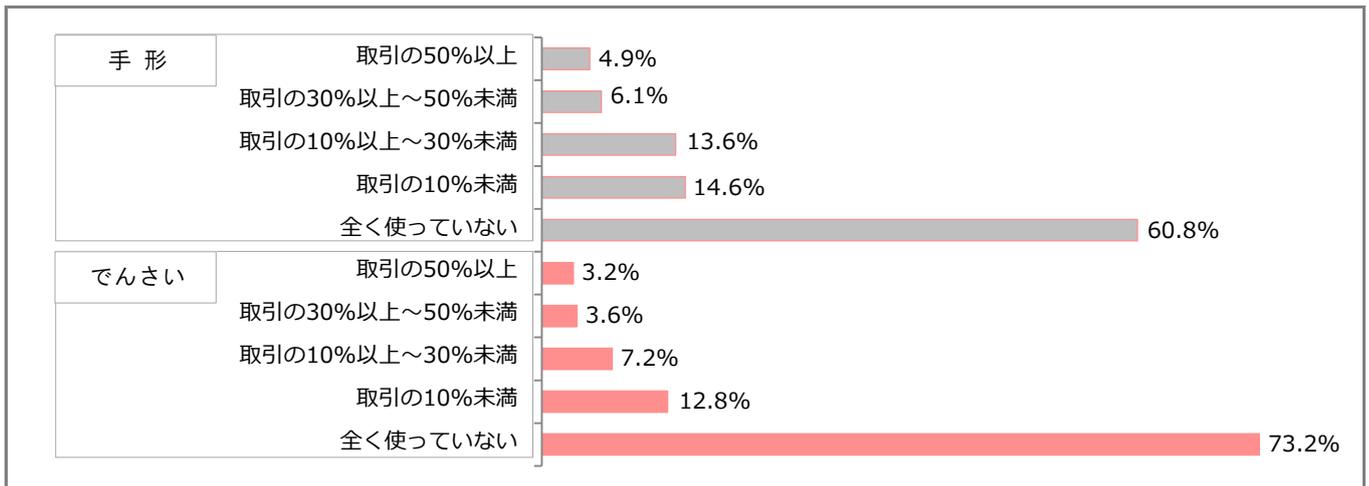
インボイス（適格請求書）発行事業者への登録について  
『課税事業者』では「既に登録申請を行った」、『免税事業者』では「まだ対応方針は決めていない」が最多回答でした。

問2 電子帳簿保存法（電帳法）が改正され、請求書などに関する電子データを送付・受領した場合には、その電子データを一定の要件を満たした形で保存することが必要となりました。この改正について、貴社の認知度を1～4から、対応を5～9から、それぞれ1つお答えください。



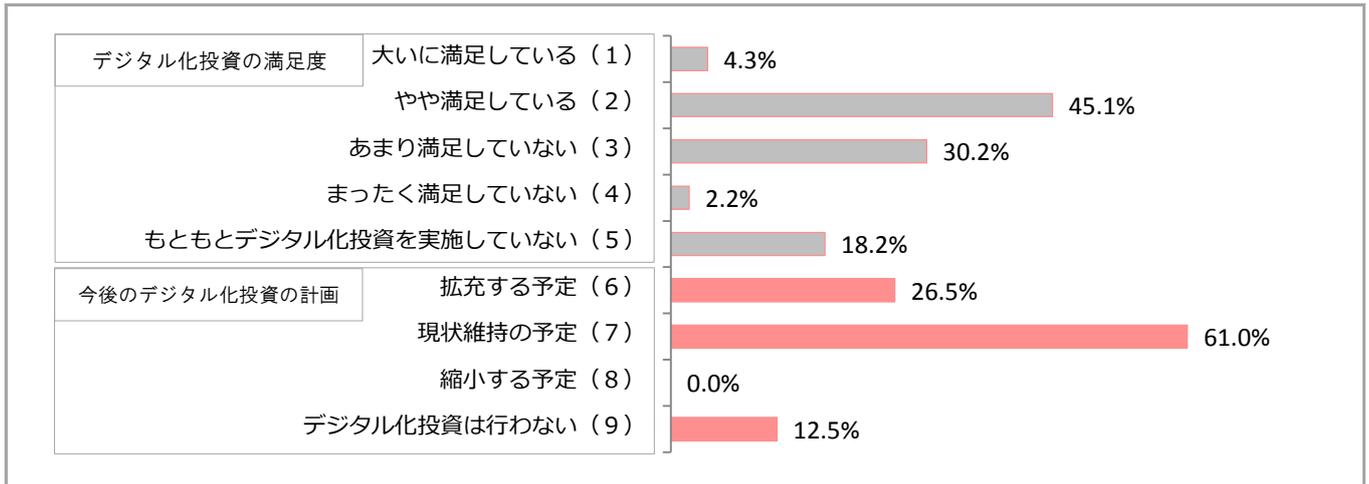
電子帳簿保存法（電帳法）についての認知度は「意味はある程度わかる」が最多回答、  
対応については「一部対応できている」が最多回答でした。

問3 貴社では、企業間での資金決済の際、手形をどの程度利用していますか。また、でんさい（電子記録債権）をどの程度利用していますか。それぞれ1つお答えください。



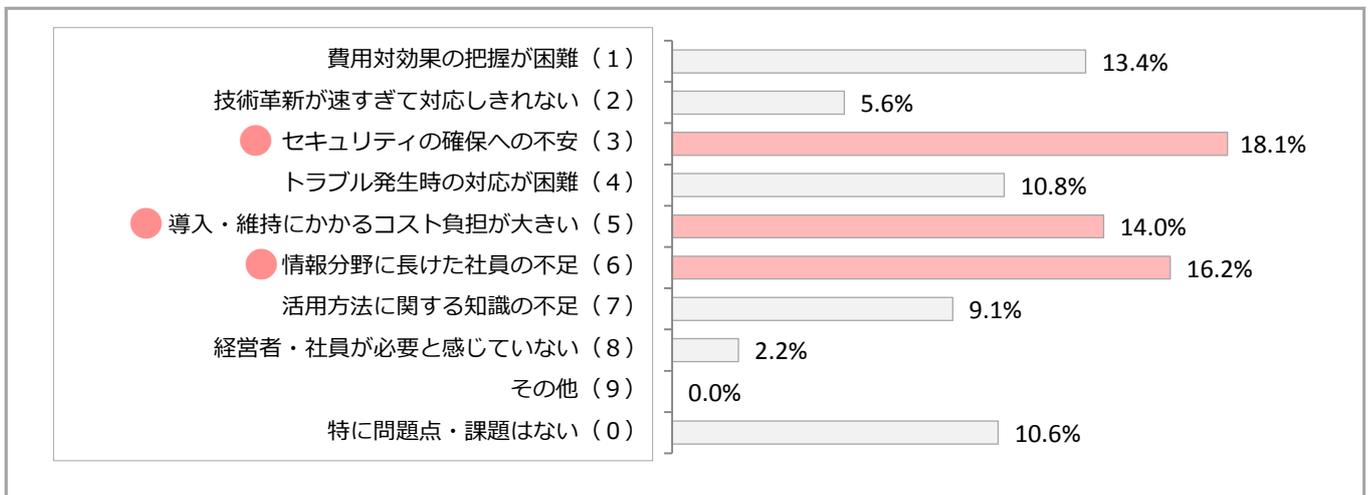
手形の利用、でんさい（電子記録債権）の利用ともに  
「全く使っていない」が最多回答でした。

**問4** 貴社では、これまで行ってきたデジタル化投資（コンピュータ、ネットワーク関連機器・ソフトウェアの購入、利用環境の整備等全般）の費用対効果について、どのように感じていますか。1～5から1つお答えください。また、今後のデジタル化投資の計画について、6～9から1つお答えください。



デジタル化投資の満足度については「やや満足している」が最多回答、今後のデジタル化投資の計画については「現状維持の予定」が最多回答でした。

**問5** 貴社では、デジタル化を進めるに際しての問題点・課題として、どのようなものが考えられますか。次の1～0の中から最大で3つまでお答えください。



デジタル化を進めるに際しての問題点・課題については「セキュリティの確保への不安」が最多回答、次いで「情報分野に長けた社員の不足」「導入・維持にかかるコスト負担が大きい」という結果でした。